

## はちのへ文化のまちづくりプラン推進状況一覧

### <施策1>ふれる・ふかめる～文化芸術に親しむ～

#### 【施策の概要】

市民による文化芸術活動の振興に関する補助や支援制度の充実、学校とアーティストのマッチング等による子ども達の鑑賞や学びの機会の充実を図ります。

また、市民が広く文化芸術に親しむために文化施設の果たす役割は大きく、各施設の運営方針を明らかにすると共に、鑑賞型に留まらず、参加・体験、創造・発信型の文化プログラムへのチャレンジ、さらには地域へのアウトリーチや施設間の連携、教育旅行誘致、商業との連携などにも取り組むものとしします。

加えて、施策2から6の取組を推進する上でも、文化施設の拠点性を高め、役割を果たしていきます。

#### ○取組方針1 市民による多彩な文化芸術活動振興のための仕組みや枠組みの構築

##### (1) 現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	事業No.
八戸市文化賞等表彰事業	文化創造推進課	1
文化協会補助事業	文化創造推進課	2
文化芸術活動支援、演奏会補助、大会等出演補助事業	文化創造推進課	3、4、5
ワークショップ開催支援事業	文化創造推進課	6

##### (2) 事業の進捗状況と課題

ア) 市民による文化芸術活動の振興に関する補助や支援制度の充実

- ・はちのへ文化のまちづくり推進事業補助金の3つのメニューで補助を実施（文化創造推進課）

イ) 文化芸術団体等と連携した文化芸術活動の認知や参加の輪を広げるための機会創出の検討、開催支援（アートフェスティバル等）

- ・令和6年4月13日から9月1日まで、AOMORI GOKAN アートフェス 2024 を開催(美術館)
- ・令和6年10月12日、13日に、三陸国際芸術祭を開催（文化創造推進課）

ウ) 文化芸術の振興に資する活動への表彰制度の見直しの検討／**R7 一部着手**

- ・若年層を含む幅広い層からの推薦を得るため、文化団体や広報媒体に加え、市内の大学・高校等にも照会を実施。また、他都市や他分野の制度を参考に、推薦制に限らない柔軟な表彰制度の導入を検討中。（文化創造推進課）

## ○取組方針２ 子どもたちの文化芸術の鑑賞や学びの機会の充実

### (1) 現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	事業No.
八戸市公会堂文化事業(業務委託)	文化創造推進課	11
南郷文化ホール文化公演事業(業務委託)	文化創造推進課	12
文化プログラム(公民館)	文化創造推進課	13
指定管理者実施事業(更上閣自主事業)	文化創造推進課	14
学校連携事業	美術館	15
パフォーミングアーツ事業	はっち	16
八戸大使ふるさとセミナー	広報統計課	17
「えんぶり」についての小・中学校出前講座	博物館	26
小・中学校での出前授業	博物館	27
小・中学生への体験学習・展示解説(博物館内)	博物館	28、29
小・中学生への展示解説(南郷歴史民俗資料館内)	南郷歴史民俗資料館	30
暮らし学アカデミー	はっち	31

(八戸ポータルミュージアムは「はっち」と表記。以下同じ)

### (2) 事業の進捗状況と課題

- ア) 文化施設が行う鑑賞機会の充実、教育普及(ラーニング)プログラムのメニュー化による周知や、幼稚園や学校、地区公民館に出向いて行うアウトリーチ型事業の実施／**R7 拡充**
- ・パフォーミングアーツ事業実施の際、希望する学校でアーティストが授業を実施(はっち)
  - ・小・中学校の要望に応じ、学芸員が学校に出向いて、講義や体験学習を実施(博物館)
  - ・小規模校向け学校音楽教室を実施予定(文化創造推進課)
- イ) 美術教育について教員と美術館学芸員が共同研究し、企画段階から効果的な教育普及(ラーニング)プログラムを実践する美術館学校連携事業
- ・小中高生を対象に、見学受入れや出張授業などを実施(美術館)
  - ・小中高の教員、専門家、美術館学芸員による学校連携プロジェクトチームを構成し、学校現場で活用しやすいプログラムや教材の開発・実践・発表などを実施(美術館)
- ウ) 幼児教育(保育)施設や学校等での活動を希望する文化団体や文化芸術活動者の見える化と、文化芸術の体験や鑑賞、部活動での人材活用を希望する学校とのマッチング事業の実施<<再掲・施策6(1)関連>>／**R7 一部着手**
- ・中学生「八戸小唄流し踊り」体験教室を実施中。また、市教育委員会も中学校部活動の地域移行にかかる検討会議を設置しており、連携して実施する(文化創造推進課・学校教育課)

### ○取組方針3 文化施設の文化プログラムの充実と連携

#### (1) 現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	事業No.
八戸市公会堂、南郷文化ホール文化事業(業務委託)(再掲)	文化創造推進課	11、12
文化プログラム(公民館、公会堂、南郷文化ホール)	文化創造推進課	13、34、36
パフォーミングアーツ事業(再掲)、暮らし学アカデミー(再掲)	はっち	16、31
更上閣ガーデンレストラン事業	文化創造推進課	32
施設維持補修(公民館、公会堂、南郷文化ホール)	文化創造推進課	35、37、38
文化プログラム・施設維持補修(南部会館、更上閣)	文化創造推進課	39、40
八戸ブックセンター事業	ブックセンター	41
美術館展覧会開催事業	美術館	42
「まちぐ(る)み」事業	はっち	43
AIR 事業、お祭り連携事業、シーズンイベント	はっち	44、45、46
市民活動支援事業、横丁活性化事業、ライブラリ事業	はっち	47、48、49
手しごと展	はっち	50
地区公民館運営事業	社会教育課	51
常設展示等、特別展・体験講座等開催事業	是川縄文館	52、53
古文書解読講習会、図書資料等の購入	図書館	54、55
特別展・企画展開催事業、常設展示	博物館	56、57
特別展・企画展開催事業、常設展示	南郷歴史民俗資料館	58、59

#### (2) 事業の進捗状況と課題

- ア) 鑑賞、参加・体験、創造・発信型プログラムや、教育普及(ラーニング)プログラムの充実、学校や地域に出向いて行うアウトリーチ型事業の実施等に関する施設特性に応じた検討、実施
- ・パフォーミングアーツ事業実施の際、希望する学校でアーティストが授業を実施(はっち)
- イ) 施設間連携のための仕組みづくり<<再掲・施策6(1)関連>>/**R7改善して実施**
- ・更上閣にぎわい広場、美術館、はっちの3施設で回遊して楽しめるように時間をずらして音楽イベント「ヨルニワ」を開催(文化創造推進課、美術館、はっち)
- ウ) 教育旅行の誘致や文化施設と商業機能の連携した取組の実施
- ・更上閣及び更上閣にぎわい広場を会場に、キッチンカーや、中心街の飲食店等に出店してもらい、更上閣ガーデンレストラン事業を実施(文化創造推進課)
  - ・横丁関係団体が連携し、八戸の観光資源である「横丁」の魅力を内外に発信。(はっち)
  - ・観光コンテンツの造成支援及び磨き上げを行い、観光誘客の促進を実施(VISITはちのへ)
- エ) 文化施設の適切な維持補修やバリアフリー・ユニバーサルデザインへの取組
- ・施設ごとに個別施設計画を策定し、計画的に補修・修繕等を実施
- (文化創造推進課、美術館、はっち、博物館、図書館、是川縄文館)

## <施策2> つくる・いどむ～新たな創造への取組

### 【施策の概要】

文化芸術基本法において、観光やまちづくりなど他分野との連携による文化芸術の社会的価値の発揮が企図されたことを踏まえ、本市においてこれまで様々な市民等と取り組んできたアートのみちづくり（アート×〇〇）に、「はっち」のレジデンス機能等を活用し引き続き取り組むと共に、公会堂や「はっち」のシアター2などでパフォーミングアーツにおける「創造」を目指した取組を推進します。

また、クリエイティビティをコアにした周辺ビジネスをクリエイティブビジネスと位置付け（例えば「裂き織り」などの伝統工芸のクリエイティビティ×デザインによる発信）、文化芸術とクリエイティブビジネスとの連携強化による双方の振興を図る取組を推進します。さらに、発信力の強化やファンづくりの観点から、クリエイティブ人材のアイデアを活かすなどし、文化芸術そのものや、多様な主体によるその振興の取組を分かりやすく周知、発信する媒体や方法などを検討し、取り組めます。

### ○取組方針1 「アートのまちづくり」の推進と文化創造へのチャレンジ

#### （1）現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	掲載ページ
ワークショップ開催支援事業(再掲)	文化創造推進課	3
文化活動支援補助事業(再掲)	文化創造推進課	6
文化プログラム(公民館)(再掲)	文化創造推進課	13
パフォーミングアーツ事業(再掲)	はっち	16
AIR 事業(再掲)	はっち	44
横丁活性化事業(再掲)	はっち	48

#### （2）事業の進捗状況と課題

- ア) 「はっち」のレジデンス機能を活用した、アーティスト、クリエイター、リサーチャー、ライターなどによるレジデンス事業
- ・各施設における取組のほか、民間での取組も出てきていることから、取組方針3において文化芸術に関する情報発信を行っている。(文化創造推進課、ブックセンター、美術館、はっち)
- イ) 市外からのプロフェッショナル人材と地域人材との交流・市民参加によるダンスや芝居などの実演芸術・劇場文化の創造と発信
- ・「はっち」のパフォーミングアーツ事業における実演芸術の発信 (はっち)

### ○取組方針2 クリエイティブビジネスの振興

#### （1）現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	事業No.
「本のまち八戸」出版事業	ブックセンター	60
大学・高専連携事業	美術館	61

## (2) 事業の進捗状況と課題

### ア) 先進事例等の調査によるクリエイティブビジネス振興策の検討

- ・ブックセンターが出版元となる機能を持ち、文化施設との連携により図録等を出版し、ブックセンター及び民間書店等での販売を行う（ブックセンター）
- ・令和6年7月19日開催の「はちのハート広場」ひろば交流会において、「クリエイティブビジネスの振興」をテーマとしたセミナーを開催（文化創造推進課）
- ・上記セミナーの参加者で文化活動補助金活用の実績もある、自閉症の当事者の親によるグループ「A0（アオ）」が、アート作品展やデザインしたTシャツ展示販売会など活発に活動中  
(文化創造推進課)

### イ) 産業、観光等、他分野との地域文化の持続可能性を高める取組の推進

- ・市内各大学の専門性と美術館の専門性を融合させ、新たな価値や活動を生み出すアートの学びの提供により、人材育成や地域経済の活性化に繋げる（美術館）

## ○取組方針3 発信力強化とファンづくり

### (1) 現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	事業No.
文化施設連携・情報発信事業	文化創造推進課	62
オンラインチケット発券・キャッシュレス決済の導入	美術館	63

### (2) 事業の進捗状況と課題

#### ア) 八戸地域の文化芸術に関するイベント情報の多様な情報媒体を活用した発信 **R7 拡充**

- ・はちまち LINE などの SNS や地域情報誌、マチニワ大型ビジョン及び地元ケーブルテレビ番組（カルチャースポット八戸）を活用した文化芸術イベントの情報発信の実施  
(文化創造推進課)

- ・八戸歴史文化発信事業実行委員会（事務局：八戸クリニック街かどミュージアム）と美術館が連携し、文化イベント情報を紹介・連携する取組を行う（美術館）

#### イ) 実施されたイベント内容や文化芸術に携わる人等にスポットを当てた情報誌の発行

- ・文化施設の取組や携わる人を紹介するミニ冊子を発行。はっち「はちみつ Petit（プチ）」、ブックセンター「ほんのわ」（はっち、ブックセンター）

#### ウ) チケットのインターネット販売の導入

- ・美術館における観覧者の利便性向上のため、キャッシュレス決済及びオンラインチケットサービスの導入。なお、オンラインチケットサービスについては、現在のところ、混雑緩和の目的で展覧会を限定して実施している。（美術館）

## <施策3>まじる・まざる～文化芸術による共生～

### 【施策の概要】

文化芸術は社会包摂機能を有していることから、文化施設や情報へのアクセス、鑑賞機会におけるバリアを取り除く取組、新たに障がい者の鑑賞、参加、創造機会の創出、外国人住民が当市の文化に理解を深める機会づくりやホスピタルアートなどの文化プログラムを検討し、取り組めます。

さらに、当市の文化芸術が持つポテンシャルをより高められるよう、三陸国際芸術祭など、文化芸術をきっかけとした国際交流の取組を推進します。また、八戸三社大祭などの祭が持つ社会包摂機能を活かすため、関係者と連携し参加の輪を広げる取組を推進します。

### ○取組方針1 共生社会の実現に向けた環境づくり

#### (1) 現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	事業No.
施設整備事業(公会堂・公民館)	文化創造推進課	64
美術館のバリアフリー・ユニバーサルデザインへの取組	美術館	65

#### (2) 事業の進捗状況と課題

##### ア) 文化施設のバリアフリー・ユニバーサルデザインへの取組

- ・ 公共施設マネジメントに向け、施設ごとに個別施設計画を策定し、計画的に補修・修繕等を実施（文化創造推進課、美術館、はっち、図書館、博物館、是川縄文館）

##### イ) 文化施設における案内や解説等の多言語化対応の推進

- ・ 未対応の箇所については、計画的に対応していく。

（文化創造推進課、ブックセンター、美術館、はっち、図書館、博物館、是川縄文館）

- ・ 多言語観光情報サイト『Guidoor（ガイドア）』の機能を活用したQRコード読み込みによる展示解説の多言語化を実施（はっち）

##### ウ) 外国人住民に向けた地域の文化イベントや文化財に関する情報提供

- ・ 八戸国際交流協会や八戸市国際交流員による情報発信を実施

##### エ) 障がい者の鑑賞等におけるバリアフリーの検討

- ・ 公会堂・公民館の施設改修時にバリアフリー化を実施した。今後は、既の実施しているファストトラックの取組のように、他都市の調査や福祉関係者へのヒヤリング等を参考にしながら、ホール指定管理者と連携し、対応可能なところから実施に向けた具体的な検討を行う。

（文化創造推進課）

## ○取組方針2 社会包摂の取組の推進

### (1) 現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	事業No.
子育てつどいの広場事業	こども未来課	18
「本のまち八戸」各種機関との連携事業	ブックセンター	66
ジャイアントルームの自由利用促進	美術館	67
八戸国際交流協会への補助金交付	市民連携推進課	68
NHK ハート展	障がい福祉課	79

### (2) 事業の進捗状況と課題

#### ア) 文化施設のサードプレイスとしての運営、居場所づくり

- ・はっち、美術館、ブックセンターを中心にサードプレイスとしての空間を提供  
(はっち、美術館、ブックセンター)

#### イ) 障がい者による文化芸術の鑑賞や参加、創造活動の充実を図る取組の推進や文化芸術を通じた交流等の促進

- ・障がいのある人もない人も踊りと音楽でつながる企画「盆踊りディスコ」を実施 (はっち)
- ・はちのへアートフォーラム「(仮称) ともにいることの可能性」(講師：NPO 法人クリエイティブサポートレッツ 久保田 翠氏) をR7年8月30日に開催し他市の事例を学ぶ機会とする  
(文化創造推進課)

#### ウ) 外国人住民が地域文化に理解を深める機会の創出やホスピタルアートなどの文化プログラムを実施

- ・多文化交流ラボ「しゃべるべ」の企画として、囲碁や種差海岸トレイル体験など、伝統文化や地域の自然に触れる機会をとおして相互理解を深めるイベントを実施  
(市民連携推進課：八戸国際交流協会)

#### エ) 社会包摂的文化プログラムの実施にかかる専門人材の確保、育成<<再掲・施策5(1)関連>>

- ・施策6のプラットフォームの中で検討を進める予定 (文化創造推進課)

## ○取組方針3 文化芸術を通じた国際交流の推進

### (1) 現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	事業No.
AIR 事業(再掲)	はっち	44
八戸国際交流協会への補助金交付(再掲)	市民連携推進課	68
三陸国際芸術推進委員会事業	文化創造推進課	72
青少年海外派遣交流事業	教育指導課	73

### (2) 事業の進捗状況と課題

#### ア) 三陸国際芸術祭の推進

- ・今後も、伝統芸能を入口にした三陸とアジアの国際交流事業を実施していく (文化創造推進課)
- ・令和6年10月12日～13日に八戸市において三陸国際芸術祭三陸芸能大発見サミットが開催された。(文化創造推進課)

- イ) 美術館や「はっち」等の展覧会企画やA I Rを通じた外国人アーティストの招聘
  - ・外国人アーティストとの交流は異文化理解の契機であり、また「外」からの刺激は思いがけない気づきや新しいものを生み出す機会となることから検討する（美術館、はっち）
- ウ) 市民主催の外国人アーティスト招聘事業等の支援
  - ・これまでの実績を踏まえ、制度内容や支援策の見直しを検討する（文化創造推進課）

## <施策4>のこす・いかす～伝統の継承と活用～

### 【施策の概要】

ユネスコ世界遺産登録の是川石器時代遺跡や国宝などの文化財、更には地域の伝統文化（祭、伝統芸能、衣食住に関わる生活文化、方言）を、アイデンティティの源泉となる「市民の宝」とし、これを受け継ぎ、未来に向け新たな価値を追求し活用していくことを通して、次代に継承する取組を推進します。また、伝統文化の悉皆調査と課題の抽出と対応、文化財の総合的な保存・活用に係る計画策定、歴史的建造物や文化施設などを利用して会議やイベントを開催し、参加者にその価値を体験してもらうユニークメニューの検討などに取り組みます。

### ○取組方針1 世界遺産・是川石器時代遺跡の適切な保存と価値の伝達

#### (1) 現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	事業No.
常設展示等、特別展・体験講座等開催事業(再掲)	是川縄文館	52、53
縄文の里整備事業	是川縄文館	77
世界遺産保存活用	是川縄文館	78

#### (2) 事業の進捗状況と課題

##### ア) 史跡是川石器時代遺跡整備基本計画の推進

- ・史跡指定地の公有化の推進、史跡内既存施設の解体撤去、多目的広場の整備の実施

(是川縄文館)

##### イ) 小中学生や市民を対象とした縄文の生活体験、縄文の工芸体験・道具づくりをはじめとした各種講座や実体験などの教育普及事業の充実

- ・体験学習や各種講座、講演会を開催(是川縄文館)

##### ウ) 観光地域づくり法人の(一財)VISITはちのへと圏域事業者で取り組む、観光客の来訪・滞在促進を図る誘客プログラム(観光商品)の充実及び情報発信/R7 拡充

- ・台湾に現地エージェンシーを配置し、そのエージェンシーを通じて現地旅行会社やメディア等へ八戸圏域の魅力をPRするなど認知拡大を図るための活動実施

(VISITはちのへ・観光課)

- ・観光振興プランでは、「文化観光・スポーツツーリズムの推進」を施策に取り入れ、文化観光の視点を反映させたアクションプランを策定する予定(観光課)

- ・市外からの来館者や行政視察の増加を受け、受け入れ要領を定めるなど体制を強化

(美術館、はっち、ブックセンター)

## ○取組方針２ 地域に根ざす文化の継承と発展

### (1) 現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	事業No.
文化プログラム(公民館)(再掲)	文化創造推進課	13
暮らし学アカデミー(再掲)	はっち	31
お祭り連携事業(再掲)	はっち	45
ライブラリ事業(再掲)	はっち	48
手しごと展(再掲)	はっち	49
地区公民館運営事業(再掲)	社会教育課	51
常設展示(再掲)	博物館	56
特別展・企画展開催事業(再掲)	博物館	57
八戸小唄まつり事業補助金	文化創造推進課	79
農業新ブランド育成事業(伝統野菜関連事業)	農業経営振興センター	84
郷土芸能ビデオライブラリー事業	社会教育課	87
先人周知事業	社会教育課	88
民俗芸能のタペ開催事業	社会教育課	89
無形民俗文化財後継者養成事業	社会教育課	90

### (2) 事業の進捗状況と課題

- ア) 伝統文化の現状に関する悉皆調査とデータベース化及び調査を基にした伝統文化継承における課題の抽出と対応の検討
- ・各種文化財等の適切な保存・管理を実施し、積極的な公開・活用の促進（社会教育課）
- イ) 八戸三社大祭、八戸えんぶりなど担い手側へのハード・ソフト両面からの参加しやすい環境づくりの推進
- ・山車人形衣装修理事業、八戸三社大祭・八戸えんぶりの開催にかかる活動経費の補助を実施しており、継続実施していく（観光課、社会教育課）
  - ・旧柏崎小学校跡地広場整備事業を実施し、山車制作展示施設の供用を開始（観光課）
- ウ) 伝統文化の新たな価値を追求し継承を図る取組への支援
- ・民俗芸能団体の技術向上や伝承活動の活性化を図るための公演会や、各地域に残る無形民俗文化財を後世へ継承するため補助金による支援を実施しており、継続実施していく  
(社会教育課)
  - ・中学生「八戸小唄流し踊り」体験教室を実施中（再掲）。地域の祭りへの参加を促し、関係者との交流や地域文化の理解を深めることを通して、将来へ継承していく取組を市教育委員会と連携し実施する（文化創造推進課・学校教育課）

### ○取組方針3 文化財の保存と活用

#### (1) 現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	事業No.
更上閣ガーデンレストラン事業(再掲)	文化創造推進課	32
特別展・企画展開催事業、常設展示(再掲)	南郷歴史民俗資料館	58、59
八戸南部氏庭園事業	文化創造推進課	91
八戸圏域文化財魅力発信事業	社会教育課	93
史跡等環境整備事業	社会教育課	94
史跡等標示事業	社会教育課	95
有形文化財保存・活用事業	社会教育課	96
天然記念物蕪島ウミネコ繁殖地、名勝種差海岸保護事業	社会教育課	97、98
埋蔵文化財の保存・活用事業	是川縄文館	99
古文書の解読・整理	図書館	100
資料収集	博物館	101
収蔵資料保存修復事業	博物館	102
資料収集	南郷歴史民俗資料館	103
資料調査	博物館 南郷歴史民俗資料館	104

#### (2) 事業の進捗状況と課題

##### ア) 当市文化財の総合的な保存・活用に係る計画の策定

- ・ 史跡長七谷地貝塚及び史跡丹後平古墳群の保存管理計画の策定及び、策定体制の整備

(社会教育課)

##### イ) ユニークメニューの検討

- ・ 国の登録文化財「更上閣」でのガーデンレストラン事業の実施(文化創造推進課)

##### ウ) 博物館等の文化施設における小中学生を対象とした体験学習などの開催

- ・ 博物館では館内での体験学習や、学芸員が学校に出向いて行う出前授業など、ニーズに合わせた学習を提供しており、継続実施していく(博物館、是川縄文館)
- ・ 八戸圏域文化財魅力発信事業における「文化財バトルカード」の配布、出前事業、体験ブース出店、遊び方動画制作・公開を実施(社会教育課)

## <施策5>つなぐ・ささえる～担う人・支える人の確保・育成～

### 【施策の概要】

対象範囲が広がる文化政策において、担い手や求められる専門性は広がっており、専門人材について、アーティストのみならず、文化芸術活動に関する企画・制作を行う者、文化施設における専門人材、地域の文化芸術を熟知しマネジメント力を備えた人材などの確保や育成に取り組みます。また、公共の文化施設では助成や協働、拠点づくりなどを通し、市民による文化芸術活動を支援する中間支援型の取組を推進することや、民間セクターにおける中間支援機能について検討を進めます。さらに、美術館における「アートファーマー」、「はっち」の「まちぐみ」、各施設におけるボランティアガイドなどの活動の振興を通して、多様な担い手・支え手が活躍する厚みのある文化芸術活動の展開を目指します。

### ○取組方針1 専門人材の確保、育成

#### (1) 現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	事業No.
古文書解読講習会(再掲)	図書館	54
民俗芸能の夕べ開催事業(再掲)	社会教育課	89
無形民俗文化財後継者養成事業(再掲)	社会教育課	90

#### (2) 事業の進捗状況と課題

##### ア) 文化継承や文化創造に係る取組をより充実させるための専門人材の確保・育成

- ・文化政策の推進に必要なスキルを持った専門人材の確保・育成を検討中（文化創造推進課）

##### イ) 社会包摂的文化プログラムの実施に係る専門人材の確保・育成

- ・ホールでの舞台芸術事業の企画立案、事業のコーディネートができる専門人材の確保を検討中（文化創造推進課、はっち）

##### ウ) 生活文化、方言、伝統文化、文化財に係る専門知識・技能を有する人材の確保・育成／R7 拡充

- ・中学生「八戸小唄流し踊り」体験教室を実施中（再掲）。講師として、日本舞踊、三味線奏者、着物着付けの先生が協力している。今後も、中学校部活動の地域展開にかかる文化芸術活動の取組の中で、専門人材の発掘・確保を進める。（文化創造推進課・学校教育課）
- ・はちのへ文化のまちづくり推進事業補助金に次世代育成活動に対する支援メニューを創設  
（文化創造推進課）

##### エ) 学校等へのアウトリーチ事業に係るコーディネーターの育成

- ・アウトリーチ事業の企画立案ができる人材の確保・育成を検討中（はっち）

##### オ) 大学等と連携した専門人材育成プログラムの検討

## ○取組方針２ 中間支援機能の強化

### (1) 現在取り組んでいる主な事業

—特になし—

### (2) 関連する取組の進捗状況と課題

#### ア) 民間文化団体の中間支援機能の充実や中間支援型組織の設立・活動支援のための検討

- ・施策6のプラットフォームの中で検討を進める予定。
- ・令和6年6月29日にアーツカウンシルしずおかの加藤種男氏を講師に迎え「はちのへアートフォーラム」を開催（文化創造推進課）
- ・令和7年7月11日に「はちのへアート広場ひろば交流会（テーマ：部活動の地域連携・地域展開について）」において、文化活動の地域の受け皿構築に取り組んでいるふじみ野市文化協会をパネリストに迎え他市の事例を学ぶ機会とする（文化創造推進課）

#### イ) 公共文化施設における中間支援組織型の取組の充実（「はっち」の協働や拠点づくりなどの取組

- ・各種講座等を実施するなど、検討を始めている（はっち）

## ○取組方針３ 文化ボランティアの活動振興

### (1) 現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	事業No.
「まちぐ(る)み」事業(再掲)	はっち	43
アートファーマープロジェクト	美術館	105
ボランティアガイド事業	はっち	106
ボランティアガイド事業	是川縄文館	107
史跡根城の広場ガイド	博物館	108

### (2) 事業の進捗状況と課題

#### ア) 各文化施設のボランティア研修の実施やボランティアによる自主的活動への支援

- ・ボランティア研修は全施設で実施しており、自主的活動が活発になるよう支援内容を検討していく（美術館・はっち・博物館・是川縄文館）

#### イ) 市民集団「まちぐみ」事業

- ・アーティスト山本耕一郎組長のプロデュースにより、気軽にまちづくりに参加できる場と機会を創出しながら、中心商店街と連携した事業を企画・実施している（はっち）

#### ウ) 美術館「アートファーマー」事業

- ・美術館を起点にアートを介して地域社会を育む様々な取組を、アートファーマー（市民等）との協働により実施する（美術館）

## <施策6> あつめる・ひろめる～連携のソフトインフラ～

### 【施策の概要】

「新しい公共（公民連携）」の取組は、地域社会において文化芸術の価値や効果を発揮するために必要な条件であり、八戸ならではの公民連携のあり方を追求します。そのために、連携・協働を推進する多様な主体が参加するプラットフォームづくりにより、様々な活動（者）の見える化を図ると共に、文化芸術政策に関する学びや、専門性に関する実践講座の実施を通して、文化政策について民間セクターが主体的に議論する場とし、連携や協働の機会を増やすよう取り組みます。また、青森アートミュージアム5館連携事業や、三陸国際芸術祭など自治体間の広域連携を推進すると共に、地元企業に対し、企業メセナ活動が地域経済と地域社会の再生に果たす役割への理解を広げ、メセナ活動の機運を高めるよう取り組みます。

### ○取組方針1 連携・協働を推進するプラットフォームづくり

#### (1) 現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	事業No.
プラットフォーム「はちのへアート広場」	文化創造推進課	109
はちのへアートフォーラム	文化創造推進課	110
はちのへ文化のまちづくりアドバイザーボード	文化創造推進課	111
はちのへ文化のまちづくり推進にかかる庁内連絡会議	文化創造推進課	112

#### (2) 事業の進捗状況と課題

ア) (仮称) 八戸アートプラットフォームの設立と当該プラットフォームによる文化芸術に関するセミナーや実践講座等の実施

- ・「ひろば交流会」を令和4年度から開催し、令和7年度も2回開催予定。また、「はちのへアートフォーラム」は令和6年度に初開催し、令和7年度も開催予定（文化創造推進課）
- ・共創パートナー※初のミーティングを令和7年3月に実施。令和7年度も開催する予定  
※文化活動を美術館と共に行う、お店や施設などのこと。（民間店舗や公共施設など）

(美術館)

イ) 市内で活躍するアーティスト等の見える化とシーズとニーズの効果的なマッチングを図る（仮称）アーティストバンクの設置と運用

- ・上記ア)の取組を通じて設置、運用を進める。また、市教育委員会も中学校の部活動の地域移行にかかる検討会議を設置しており、連携して取り組む（文化創造推進課）
- ・八戸ゆかりの表現者をよく知る地元文化関係者と美術館がプレゼンター（作家推薦者）となり、作家を選出し紹介する企画「八戸アーティストファイル」を令和7年2月に実施。

(美術館)

ウ) 文化行政に関して関連する行政分野との連携調整を図る庁内連絡会議の設置

- ・必要に応じて会議、聞き取りを行い、分野横断的な取組を推進する（文化創造推進課）

## ○取組方針２ 青森県や近隣自治体との広域連携の推進

### (1) 現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	事業No.
青森アートミュージアム5館連携協議会事業	美術館	113
八戸圏域連携中枢都市圏連携事業	政策推進課	—
三陸国際芸術推進委員会事業	文化創造推進課	72
はちとまネットワーク連携事業	政策推進課	—

### (2) 事業の進捗状況と課題

#### ア) 青森県文化芸術推進計画との事業連携

- ・施策5プラットフォーム事業への協力を検討している（文化創造推進課）

#### イ) 青森アートミュージアム5館連携協議会事業の推進

- ・令和6年4月13日から9月1日まで「AOMORI GOKAN アートフェス2024」を開催。閉幕後は5館及び青森県内の周遊促進にかかる連携事業について検討中（美術館）

#### ウ) 広域行政の枠組みである八戸圏域連携中枢都市圏「スクラム8」や北緯40° ナニヤトヤラ連邦会議での事業連携

- ・八戸圏域文化財魅力発信事業における「文化財バトルカード」の配布、出前事業、体験ブース出店、遊び方動画制作・公開を実施（社会教育課）（再掲）
- ・八戸圏域連携中枢都市圏の連携事業である「ブックセンター運営事業」では、令和6年度は三戸町での作家トークショーや田子町立図書館での絵本教室を開催した（ブックセンター）
- ・アートファーマープロジェクト「きむらとしろうじんじん南部町剣吉野点2024」の開催  
(美術館)
- ・苫小牧市美術博物館との事業連携として、苫小牧市在住のアーティストを八戸市美術館に招き、ワークショップを開催（美術館）

#### エ) 三陸国際芸術祭への参加

- ・令和6年10月12日から13日まで八戸市において、三陸国際芸術祭三陸芸能大発見サミットを開催（文化創造推進課）（再掲）

### ○取組方針3 事業資金確保の取組や企業メセナの推進

#### (1) 現在取り組んでいる主な事業

事業名称	担当部署	事業No.
「本のまち八戸」クラウドファンディング事業	ブックセンター	114
基金充当事業	文化創造推進課	115
ふるさと寄付金事業	広報統計課	—

#### (2) 事業の進捗状況と課題

- ア) 助成金等事業資金確保手段の多角化と情報提供の充実
- ・「八戸市公会堂・公民館」のネーミングライツ（施設命名権）スポンサーがSGグループに決定し、令和6年10月1日から「SG GROUP ホールはちのへ」として施設名称を変更  
(文化創造推進課)
- イ) 新たな資金調達方法としてクラウドファンディングの検討
- ・令和3年度にブックセンターが市で初めてクラウドファンディングを実施  
(ブックセンター)
  - ・現在は、ふるさと寄付金で「本のまち八戸の推進のため」「図書館振興のため」のほか、美術館事業、芸術・文化活動の促進などの目的で寄付を呼び掛けている  
(ブックセンター、図書館)
- ウ) 市の既存の文化関係基金を統合し、文化財保護の目的を加えた文化振興基金の創設
- ・基金が、特定の目的のために財産を維持・運用するものであり、その目的に賛同した方からの寄附も含まれていることから、統合は行わない方向で検討中（関係課全て）
- エ) 地場企業が地域メセナ活動への理解を深める機会づくりや文化振興に関するパートナーシップ構築の手法の検討
- ・施策6(1)プラットフォーム事業の取組を通じて検討を進める（文化創造推進課）